磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料　二行五十錢（指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社（電話五四番）

論壇

賣名的行爲か

大虚道人

近頃頻々として直訴を企つる不敬漢の現はるゝは誠に痛恨に堪へざる悲しむべき現象と謂はねばならぬ！惟ふに斯くの如き不祥なる惡現象の流行は矢張思想の混亂、生活の不安即ち險惡なる社會相の反映として愼重に之を研究し、處理するの外はあるまいと考へる

◇

或は是れ刑罰制裁の寛に過ぐるが故なりとし、更に之を嚴にせよと論ずる者もある。然しこの點に對しては我等少しく見解を異にする直訴の不敬行爲たることは固より論なし只夫れ不敬行爲たるに止まり直接危害を加へ奉らんとするが如き大逆行爲とは全くその性質を異にす。彼等の動機は請願令に不明なるの致す所か若くは些々たる賣名的行爲か何れにしてもその多くは精神に異狀を來して居るのだ。

◇

殊に請願令の存在が今尚國民の間に徹底を缺けることはその最も大なる原因であらうと思はれる、當局者は宜しく速かに之を徹底せしむるの方法を講ずべきである。請願令に依つて正式に提出せられたる文書が果して乙夜の覽に供せらるゝの事實明瞭となるに至らば誰か亦好んで直訴の如き不敬行爲に出づるの愚を敢てするものがあらうぞ

◇

斯かる不敬行爲の續出に對して益益御警衛の方法を嚴重にすべきことは無論である。只その嚴重ならしむるの手段に就て硬軟二樣の別あることを考へねばならぬ。現行の如く五歩に一警官、十歩に一憲兵御道筋の左右に劍戟林立の偉觀を示すは是れ硬式である。然しこの硬式が果して御警衛の安全を期する唯一の方法であらう乎。夫にて果して所期の目的が遂し得るゝであらう乎。抑々亦我皇室に對する國民性の純精神と合致するものであらう乎　是れは聊か疑問だ

◇

我國民の皇室に對する觀念は單に純朴其物である。我皇恙なきやと沿道に蝟集する民衆の心理には只忠誠の一念あるのみ、例へば赤子の慈母を慕ふが如く至情の儘の發露であるのだ。然るに警備官吏の非常識なる恰も不良漢に對するが如く大喝して中を追つ攘つて居る。警戒の嚴重なるに從ひ、時間の制限、區域の制限、共に益々その弊を助長せしむるの觀がある。丸で昔時歐洲の專制君主國に於けるが如き奇觀を呈して居る。之は決して日本の國民性に適したる方法でない

◇

我輩は行幸啓の御道筋に常に一脈の青風蒸するか如くあらねばならぬと信ずる者である。嚴重を期する爲めには宜しく無數の私服を配置せよ而して彼の殺風景なる劍佩連中は努めて之を減少せよ是れ即ち軟式警衛である。斯くてこそ御道筋の光景は始めて日本らしき清淨さを保ち得るであらうと考へる。敢て私見を述ぶること爾り。

今夏の新傾向

具玩、童謠の浴衣や銘仙　お召に現はれたモダン柄

新緑したゝるばかりの初夏となりました、夏衣に着かへねばならぬときも、もうあまり遠くはありませぬ今年の夏の服飾りはどんな流行でありませうか、第一に**最も民衆的**な浴衣を見ますのに、これは例によつて染に本染と手拭染とあり、地質からはボイル、木綿絽手拭地があります一頃さかんに迎へられた江戸趣味の本藍染は色のおちますためこの頃はほとんど歡迎されなくなつて了ひました、何と申しても手拭中形が全盛でありますその模樣は染色の簡單に出來る關係上、粹向き趣味から新らしいモダン好みまで千種萬別どんなものでも出來てゐるのです、値段も一般に安くて**全く大衆に、**向くやうに出來てゐます。それから昨年あたりから一つ身とか四つ身とかの子供の浴衣地へ、たもあやや童話のものを染出したのが迎へられてゐます、全体の色としては本春以來流行の納戸色、さんご色それに鳩羽淺黄ねずみなどが流行の中心になつてゐます、それに色はこの夏になつて一層濃くなり、その濃い地に白く模樣をぬいて、はつきりした柄合から涼しさを呼びおこさうとしてゐるやうです地質そのものよりも**色と色との**配合對照によつて涼しさを出さうとするのは、たしか年の新傾向のやうです模樣は相もかはらず主な二つの流れがあります、その一つの日本式のものは細い線をもつて色を用ひず現すといふ種類のもので。こまかい模樣はこの日本趣味獨特のおもむきをもつてゐます、色にも模樣にも大進展をとげてゐる銘仙は、またすこぶる大衆的になりましたが、夏の物としてはやり日本趣味の模樣で**細線模樣の**草花などが見た目にも夏らしく、それにつゞいては絞りもので匹田しぼりを市松その他の模樣に現したものなどがあります、なほ夏ものとしては大絣は若向きに小絣は本年向きに迎へられ縱横共に新工夫した絣もあるやうです、銘仙につゞいて夏の着物としてお召があります お召はその性質上銘仙ほどに新柄はありません單純な縞だ或は細い線をもつて瀧縞を出したものもあります。一体に羽織を用ひない時の着物でありますから**その單純なく**縞が却て全体の美を發揮しますのはお召の特長でありませう色合も銘仙に比したら單純でほんの二三種しかありません、ねずみとか納戸とか紺とか鍛り色などはほとんどありません、これから羽織ですがこれは晩春初夏に用ひられて、眞夏にはあまり用ひられませんこれまでは無地で縫紋などをした、絽綿紗が全部の勢力を占めてゐましたが今年は少し調子が變つてきて繪畫風にリズム模樣を**裾にちらし**たり、後の帶の上にあたるあたりへ模樣をちらしたりしぼりを試みたものが出てまゐりました、けれどもこれがために上品な無地羽織がすてられるやうなことはありません、モダン好みはいつでもほんの一部に限られてゐます、また眞夏用としての明石、絽縮緬、絽綿紗、さういふものはこれまで伸んだり縮んだりし居て仕立にも着付けにも困りましたが最近この點が非常に改良されたといはれてゐます。

明日の吉凶
新曆六月廿四日
舊曆五月七日

▲一白　深入りすることはお道を失ふやうな注意
▲二黑　常業は遲々たりとも捗り行くあせるは破れの基
▲三碧　正道に依り進まば何物も我を妨ぐるを得ず
▲四綠　喜びも東の間に消へて爭ひと變じ易し注意
▲五黄　これまで惱みに居たる事ども今日通達す
▲六白　少しの不服ありとも顏に出ださず平和を願へ
▲七赤　次第々々に勢ひ付き來る入學開店名廣め吉
▲八白　思惑の賣買に手を出すときは意外に失敗す
▲九紫　吉運の日なれども我意を張る時は誤ちあり

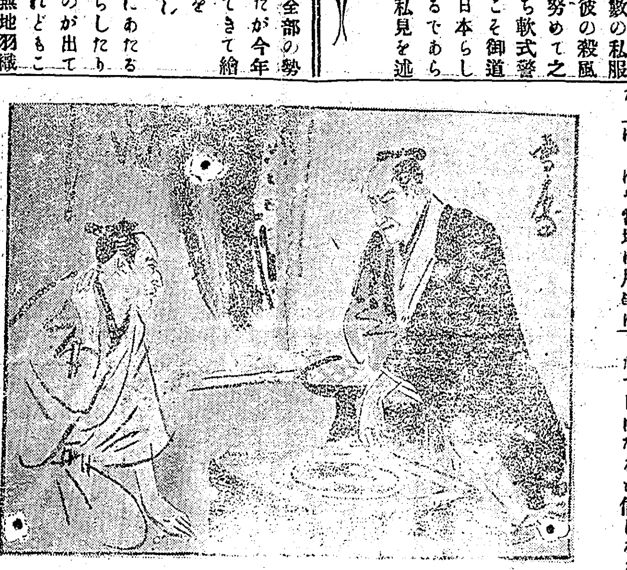
講談

闇に閃く男達

(122)

高田涙川作
尾崎雪磨畫

代官に一談判



「サア金五郎初め皆のものいよ〳〵こうして敵を討つた上はもはや當地に用事はない、併し憎みてもあまりあるは松坂の代官佐々木佐太夫である、もしこのまゝに捨てゝおく時は天下の良民は彼の爲めいかなる難儀をするかわからん、依つて歸途松坂に立ち寄り是非曲直をたゞした上にて歸國いたさう、皆の者は如何考へられるか」

正春は一同の意見を問ふた、金五郎はじめ誰も異議のある筈はない、それぢやこれより松坂に乘り込むべしと小源太、主膳の髮の毛を少々切りとり、村上三左工門や源左工門、水口文吉がたゞぼう然とする中を悠々と一同一先づ鳥羽の旅館へ引き上げ扮裝を改めてその日の中に鳥羽を立ち松坂に來り再び以前の宿屋に入つた、この間にありて役人の方は全く追跡もせずそれ〳〵引き上げてしまつたは意氣地のない話だが、元來が邪道を通さうとして失敗に終つたのだから止むを得ぬであらう、正春等その他は代官佐々木の役宅に乘り込んだ、

「拙者は若州小濱の浪人にて石川正春と申す者、前日鳥羽に於て當役所の下役の人々に面會せしことにつき代官殿に御意を得たく推參いたした、左樣御取次ぎ願い度い尤も拙者等を尾張藩金藏破りの曲者なりと呼ばはる代官殿なればその大罪人が自身出頭せしをよもや不滿足に思はれることはあるまじく代官ちき〴〵に取りたてしになると信じるも萬一面會いたさぬとか何とか申さるゝ樣なれば拙者の方よりふみ込み一談判いたすであらう、しかとせし返答承りたい」

正春の口上は面會に來たのか喧嘩に來たのか分らない取次の役人はびつくりして[illegible]へ飛び込んだ、

「ハ、ア申上げまする殿樣大變なことが出來いたしました」

「何事ぢや、靜かにいたせ」

「それがなか〳〵靜かにいたされません、鳥羽で金藏破りの犯人として召取らんとせし石川正春が同勢六七名を連れ談判ありと乘り込んでまゐりました」

「本日はるすだと申しておけ」

代官佐々木は鳥羽失敗の顛末を聞き善後策に頭をなやましてゐた、今正春等に面會するは頗る不利であるからるすとひゝ避けんとした

「ハヽーそれがなか〳〵さう云ふ譯には行きません、もし面會いたさぬ時は當方より奥座敷へ乘り込み片つぱしからナデ切りにいたすと申して居ります」

取次の役人はヨタをとばした

「エッ……片つぱしからなで切りだと申したが」

「イエ、それは噓で御座います」

「たわけ者奴、この場合に左樣なうそを申す奴があるか……」

「然し殿樣、お會ひになりませんと、どんなことになるかもわかりませんぞ」

佐々木佐太夫も藩主の鑑識により松坂を取締りをる代官である浪人者の五人や十人あばれたとて藩主の威勢で取り押へられないことはないが、代官自身が邪を正にごまかさんとするのだから表沙汰にすることが出來ぬ、從つて正春らに對面はあくまで避けんとする

「とも角本日は病氣故面會は相成らん追つて沙汰をいたす迄控ゑておれと申せ」

「そんな事を云つたら首仕舞だ」

「ナニッ……」

「イエ、ちよいと、こつちのことで……」

平町舊城跡
青沼醫院
電話四〇三番

開店御披露
氣分好い食堂ができました、暑い夏の夜御散策旁々、是非一度御來店の上御批評を
經營は大塚肉店故原料豐富、是非一度御試食の程を
女給數名入用
カフエー幸樂
平町六丁目（電五三九番）

內科、小兒科（院長毎日診療）　院長　醫學博士　難波睦
內科部長　粟野省三
外科一般花柳病科　外科部長　醫學士　氏家憲介
產婦人科　產婦人科部長醫學士　五十嵐雄二
藥局　藥局長　吉本孝平
本院主事　賀澤忠治
電話七二番

獨逸シーメンス、ユニバーサル、ヘリオドル
最新X光線裝置
五月十日ヨリ診療開始
主任　醫學博士　難波睦
入院自炊ノ便アリ
◆看護婦募集
磐城共濟病院
平町　電話六四一番

國產品普及宣傳
抽籤附大特賣
精工舍製腕時計セイコー
大懸賞額
賞品
一等　金壹百圓（復興債券）五十本
二等　金五十圓（同）百本
三等　金拾圓（同）二百本
四等　金五圓（同）五百本
五等　精工舍製ニッケル丸形机上時計（市價一圓八十錢）四萬九千百五十個
賞金總額金拾萬貳千九百七拾圓也（一本も空籤なし）
特約店　會田時計店
平町四丁目（電話三六三番）

廣告
平町田町
赤心堂病院
電話四七五番

パイロット
高級萬年筆

二重大懸賞附
太平洋横斷大飛行應援販賣
三・〇〇以上
一等賞　金側腕時計　空籤無シ
六月末日限
特約店　平公園前　佐々木商店　電話二三三番

㋡石炭と「コークス」
煙ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭ト「コークス」
灰ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭ト「コークス」
物ハ試メシ一俵御使ヘ下サイ
品質本位ハ當店ノ信條デス
石炭正味十貫目　金六十五錢
平驛前　㋡阿部石炭商店
電話二三七番へ…直グ配達致シマス

あらが染
元祿（げんろく）
發賣元
株式會社朋友商會

▲染色力……確實
▲使用法……頗る簡便
▲價格……低廉
定價……小瓶二五　中瓶三五　大瓶五〇
大販賣店　平町五丁目角　山野邊藥局

◆初夏の飲料
サッポロ　キリン　ビール
リボンシトロン
御注文次第直ちに配達いたします
銘酒　由良の助　瓶詰
出張販賣所
平町四丁目平驛通り
電話二〇七番

內科。外科。婦人科。
小兒科。花柳病科。
磐城病院
入院隨時
平町田町本通り（電話一一四番）

日東のラジオ
最新高級のラジオ製造販賣
並に部分品提供
當分の間　奉仕的破格値段
三球セット取付共
A　百貳拾五圓
B　百圓
C　七拾圓
御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切御相談に應じます。
平町白銀町
日東商會
電話四二八番

今日の上天氣で各山神祭賑ふ

雨に祟られた昨夜は飲めや歌への大亂痴氣

常磐各炭鑛では舊端午の節句をトして行はるゝ山神祭で昨廿二日の舊五日より今廿三日へかけては年に一度の行樂デーとして全山休業の上各種餘興の催しに全山わるゝばかりの賑ひを呈する筈の處初日の昨廿二日は南寄りノ風でた天氣は同樣梅雨模樣であります」と言ふ前日夕刻の天氣豫報を二三割ひどく行つて夜來の雨朝に至るも晴れ上がらず折角の山神祭はこれがためおちやんになるではないかと半諦められたが十時頃からは曲りなりにも霽れ上がつて鈍い陽の光さへ洩れ初めたので今日を晴と着飾つた炭礦むすめなどの出足を陵り各炭礦を通じて正午頃からはどうやら炭礦特有の山神祭氣分になつた餘興は相撲擊劍マラソン大弓といふ樣な武張つた處から活動寫眞連鎖浪花節大神樂といつた樣な娛樂本位のものなど各山殆んど共通の出し物で何れも劣らぬ賑ひを見せたが一方朝の天候に見切りをつけた連中は朝のうちからすつかり所與を据ゑて酒盛をはじめたので昨日の午後から夕方へかけては各長屋とも飲めや歌への大亂痴氣騷ぎに山なす貯炭も根こそぎ吹き飛ばす勢ひに見へた今二十三日は朝から珍らしい上天氣で全山は破れる程の人出を見せて賑はつてゐるが更に明二十四日の公休日曜へかけ三日間打つ通しの骨休めといふわけで本當のしごとは二十五日からといふわけである

本郡地方の漁業

漸次科學的發達

組合が力瘤を入れて漁獲法の改善

石城郡における各濱では最近壺網、地曳網、大敷網等沿岸漁業が非常に發達して來た從來石城郡地方はこの種の沿岸漁業をあまりに歡迎しなかつたそれは漁獲方法が發達しなかつた結果で豐間、小名濱等の大敷網が他縣人が發見して開始したのを見ても解る、それに鰹、秋刀魚漁の漁區が漸次遠くなり小型漁船では相當漁群おつて歩く事が出來なくなつたのと大敷網の成績が極めて良好なのに刺激されて試驗的に小型漁船の所有者が沿岸漁業をしたところ成績が良好せつたので急速に發達してきたもので小名濱、江名、豐間、四倉の各濱では最近この沿岸で捕獲される漁類に相當の收益を納めて居り數日前小名濱の地曳網は無數の鰯を捕獲し四十尾十錢といふ法外もない安値で取引された程である、兎に角石城郡地方各濱は鰹漁其他をなす大型の漁船は即ち遠洋漁業と最近發達した沿岸漁業とにより漁獲方法も改善されつゝあり各漁業組合では科學的の調查をなして漁業家の便を圖るやうになつてきた

小名濱商港と平小鐵道問題の將來〔一〕

各省陳情より歸つて

小名濱　小野生

◎小名濱商港と平小鐵道とは一は國家的立場より、一は地方的立場よりして、何れも忽諸に附し難い地方問題の一つである、此兩問題は何黨を問はず實現に勉むべきものである事も、一致する、而して愈々國會の協贊を經るに至る矢先國會は解散となつて、議案は不成立、商港問題はたヂヤンと云ふ破目に陷つた、是れも自然の勢とも云ふべきもので、致方はないが、偖て今後の雲行きはドウだか氣にかゝるのは、獨り地元の小名濱のみではないか、別けても小名濱側は之をして實現せしたい希望から、莫大の犧牲を拂つて臥薪嘗膽の苦楚を積むで居る、其實現に疑るを生する樣ではそれこそ一大事變が寄き起ると見てよからう

◎此の大事な成行きを確むるは決して、意義のないるではない一行には町長鈴木榮氏、前縣議小野晋平氏に吾輩であつた、上京の日は三人三樣である、吾輩は十五日の午後五時に發し鈴木町長は十五日午前中に福島より十六日上京した樣は譯けて、小野氏は十六日午後に着京と云ふ有樣であつた、一同十七日の日曜から運動に着手した、此運動に先ち縣選出の代議士を願す事となつたが、木村代議士は歸省した許りだと聞き在京代議士の石射、管野兩代議士を煩す事になつたが、日曜は矢張り日曜で運動は出來なかつた。

◎それでも午前八時遞信次官桑原氏の官舍に加勢新知事を尋ね商港問題に付き陳情した、新知事は商港問題よし、産業運路問題よし、苟にも本縣產業を助長すべき事業は何でも、遂行すると大見得を切つた、見るからに短身矮軀、未見の時の想像とは全く裏切られた盛に打たれた、或は欵ふ此の人にして難治の聞ある本縣の知事たるを得るかは時に平町伏見、泉村長中村、神谷村長の町村長來訪、何やら陳情する處あり、吾々等は知事官舍を辭し伊藤前知事に面接すべく、其寓去に訪れた

◎牛込區築土八幡神社の前通り牛込商業實務學校長中村辭三郎氏は伊東長官の緣の兄弟なそうてある常に質素を旨として居る伊東長官は何時も中村氏の宅ー旅裝を解く事になつて居る、十一時半までに歸りますと云ふ中村氏令孃の挨拶に應接室に待つ僅に十分、定刻の十一時半に十五分前、伊東知事は歸られた太い一文字形の、眉精悍の氣に滿つ面持掩ふ能はざる悅びを以て接して吳れた小野氏から、新知事にも會ひ陳情して來たが伊東長官よりも能く話して貰ひたいと述ぶるを俟たず、加勢君は非常の努力家で、吾輩は迚も及はない、加勢君は必らず行るよと激賞して裏書をやつたやれるだらうかと疑つた、一行も伊東知事の裏書で稍々安神した(未完)

苦學の賜

檢定試驗に合格した櫛田貴美子さん

石城郡川部村沼部字鹿野四三櫛田貴美子(二三)は今回見事に文部省の專門學校入學者檢定試驗に合格した同女の令兄は作太郎氏で母と姉の家族がある十五年四月志しを立てゝ上京し文化夜間女學校に入り晝は內閣統計局に勤務しつゝ苦學してこの榮冠を得たもので將來は裁縫女學校の敎員たらんとの希望を抱いてゐる

未來の名人候補

天才碁客宮下君

十番碁で七人拔けば愈々初段に決定

我邦の棋界において名人或は少くとも高段者は間違ひない處として大にその將來を囑目されてゐる人に天才少年洋ちやん事宮下秀洋君がある同君は石城郡內郷村大字宮瑞寶寺の住職宮下秀貫師の息で九つの時から本因坊に師事してその天禀の鬼才は今年の十二月二十日滿十五といふ年少であり乍ら既に初段を凌ぐ技倆をもつてゐる震災後は大倉喜七郎邸に寄寓してひたすら研鑽に餘念なく先頃來日本棋院粒選りの少年棋手十名を向ふにまはし一面五時間といふ息づまる樣な十番碁の對局中でこの七人拔きがパスすればそこで押しも押れもせぬ初段を授けられるのだそうでこの天才棋客を目の中へ入れてもいたくない父君秀洋貫か明け暮その吉報の到來を鶴首してゐるとは殊に圍碁は三度の飯よりも好きなこの人としてさもあるべき事である、因に少年棋客の初段は地方にだける二段以上の力倆を有するものと觀られその非凡の才能を必要とする事勿論で恐らく縣下では政友會縣支部幹事長の佐藤庄太郎氏等と互戰位の處であらうといはれてゐる

菊田方部

商況活潑

昨今の繭取引

石城郡地方の春繭出廻りは郡南植田勿來方面が昨今旺盛なる出荷をみてゐる外平つたな糸價の振はざるに拘はらず終期に臨んでは各製糸家筋買不足の傾向にて活烈に買進んで來たゝめ優良繭は殊に買慕はれ四倉市場における二十一日取引の白繭最高相場は七圓八十五錢

更に精査の要ありと結局決定延期乎

一と紛糾を豫想さるる第三校敷地の町會

第三小學校の敷地を決定すべき平町會は愈々明後二十五日午前十時から町役場會議室に於て開會青沼銖太郎氏外十名の委員から調査の結果に就て報告ある筈であるが當日は立町に反對議員から該問題決定延期の動議が出で更に第二段の精査に入る事になるであらうと觀測されてゐる

名力士綾瀨川の孫・栗島すみ子さん

蒲田のスター、栗島すみ子さんは大の角力好き―それも宜なるかなである彼女のお父さんは有名な栗島狹衣氏で氏の父が又名力士として其の名を知られた綾瀨川だ、これは世間ではあまり知らない樣だ、だから祖父から父と好角黨の血を享けた彼女も又好角家であのことは何の不思議はない譯だすみ子さんは每場所欠かさず見物に出かける、今度の夏場所は撮影の都合で好きな角力も見られなかつたが一日暇を得て大急ぎで場所へ乘り込んだが時間が遲かつたため打ち出したばかりのところへ行つて到々見られずに歸つた、すみ子さん殘念がることし。

さく子のバンプ役

蒲田の柳さく子は久々で「空の彼方」に出演して妖婦役を勤めて居るがバンプ役になるのは始めてのことで今迄主に日本物のみに結つて居たが今度の役で見ろからに素晴らしい洋髮に結つたが俳優部屋からセットに行く間ベールを頭からかぶつて下を見て出かけるといふ始末、理由はときくと恥かしいからだとのこと…今更…。

廣瀨恒美第一回監督は海洋劇「北極星」と決定

日活の廣瀨恒美は淺岡信夫監督にて目下「大學選手」に主演して居るが同人の第一回監督作品は海洋劇「北極星」と異ぼ決定した、主演者は多分淺岡信夫になる筈である、此の映畫は頗る規模の大きなものであるといふ。

改名　小澤茗一郎

松竹下加茂からマキノに入社した小澤茗一郎は今回澤田敬之介と改名した

ボ嬢がユ社に入る

フオックス社のイット・ガール、オリーヴ・ボーデン孃は同社との契約が滿了したので新興のコロムビア社に招かれて專屬スターとして入社することになつた。

松竹映畫「踊れ若者」

美談

妻に死なれた農夫を助けて田植

今の世に珍らしい赤井村の二青年

赤井村大字高萩農業大平淀三郎は農繁期を控えて愛妻に病まれたので妻を平町共濟病院に入院加療すると共に八方看護の手を盡したが去る十五日遂に死亡したので其れでなくとも妻と二人暮しの淀三郎は搗て加へた此の災難に農家が命と頼む田植所ろか昨今に至るも田地の耕作も出來兼ねてゐたが此れを知つた同村大字高萩農若松一郎同草野正の兩青年は數日前から農馬を索いて人知れず淀三郎方の田地の耕作を了し植付の出來得る樣に一日の勞役奉仕を爲したが人情紙よりも薄い當節柄殊に目下の農村は身体が二ツあつても足りない程に大多忙を極めてゐる折柄とて二青年が此の美擧に出でた事は同村民を極度に感動せしめてゐる

水田被害防止

神尾技師は語る

石城郡地方は最も早き地方を別として昨今田植の最盛期で一時懸念された水不足もその後降雨で緩和され頗る順調に行はれてゐるが本年の稻苗は一般に苗代時代螟虫うんか等の著しき蕃殖を見て相當の被害を蒙つてゐた程であるから現在のところでは改植後における大なる被害を蒙つてはゐないが餘程注意をせねばこれ等の害虫による被害を未然にふせぐ事不可能であるから本田改植後に對する稻苗については細心なる管理上の注意をなしその被害防止に努められたいと神尾技師は語つてゐた

祝酒に醉つた坑夫高坂附近で轢死

長男の出產祝で禮返へしの歸途

東白河郡竹貫村生れ當時石城郡好間村大字北好間字權現堂小田炭礦坑夫長屋居住坑夫吉田四郎治(三七)は數日前出生した長男一の出產祝の御禮返へしに廿一日山神祭での公休を幸湯本町吉田正方を經て內郷村大字鬼ケ澤志田常松方に立寄り御禮返へしをした上でシコタマ御祝酒を馳走になり午後七時頃歸途に就いたが同村から好間古河坑に通ずる鐵道專用線を通行中折柄高坂坑の入換作業をなし綴驛に逆行して來た平機關庫機關手會川明定の運轉する入換列車に觸れ全身粉碎無慘な轢死を遂げた平署から七海部長出張檢視の上で死体は家人に引渡した

石城の名勝　赤井嶽

頂上へ道を開き大貯水池を設く

藥師を以て聞ゆる石城郡の名勝赤井嶽では既報の通り地方有志奉納の十二神將の銅像を鑄造中であるが尙この際同山奧の院より經塚に至る山道を開き頂上に登るの便を開く事になり且水石山より水を引火防のために堂宇の傍らに大貯水池を造るべく專ら協議を進め計劃中である

磐中庭球部　郡山に遠征

連勝を期して明日出陣

磐中庭球部では安積中學庭球部の挑戰に應じ明廿四日郡山に遠征安中軍と一大決戰を試みる事に決定したが昨年第一回の對校試合は安中軍平に遠征したが慘敗したので此度は必勝の意氣物凄く猛練習を續けてゐるから兩軍の決戰は郡山地方ファンの血をわかせてゐる、尙磐中軍の陣容は

△大將鴻の池、蛭田△副將吉田、鈴木△中堅新妻長谷川　（以下略）

因みに平庭球クラブでは磐中軍の必勝を期する爲め今廿三日午後三時から九曜コートに於いて練習試合を催す事となつた

雨に淋しかつた舊端午の節句

農繁も幾分原因して昨日の平町

平町地方の舊端午節句陰鬱の霖雨に惱まされて近在からの人出もなく町は節句らしい賑ひを呈する事も出來なかつた尤も本年は春蠶は既に上簇して大半は養蠶期の繁忙からは脫してゐる樣なものゝ未だ收繭は終らぬ地方もあり或は收繭後の整理に忙殺されてゐるものもある外同地方附近農村が昨今田植の最盛繁忙期であるから雨天にあらざるも賑ひを呈する程の人出を見るか否や疑問であるが兎に角祝を當込の興業及飲食物營業殊に氷屋さんなんかの收穫に至つては思ひ半に過ぐるものがあらうと窺はれこれと共に節句の雨を恨むものの中に附近炭礦の山神祭があるこれまた山神祭當込の商人等を落膽させると共に年一回の山祭を霖雨にとぢ込められて興をそがるゝ從業員等のためにも當日の雨こそ如何に無情なる雨でありしか晴天なれば皐月の中空に吹きなびく鯉幟の雄姿にも接し得られるものを…あゝ呪はしの雨ぢあつた

昨日眞晝間

平町で賭博二組

前科八犯の常習者も混つて平署に檢擧

昨二十二日午後四時三十分頃平町字材木町形付尾業池上久吉方で內郷村大字御厩高橋淸(二九)平町字紺屋町佐藤仙松(三〇)平町字仲町坂本梅次(三五)と前記久吉が車座となつて片肌拔き十丹と稱する現金賭の賭博を開張中警邏中の平署金子巡查に發見現場に踏込れ一網打盡に檢擧　△同日午後九時半頃平町字二町目料理店つちや事鈴木寶太郎(四二)方で寶太郎と同町長橋町木炭商小松傳重(四七)の兩名が花合賭博を開帳中密行の平署柴崎半澤兩刑事に現場に踏み込れ逮捕の上目下各れも平署で嚴重な取調を受けてゐるが前記寶太郎は前科八犯を有する賭博の常習者であると

開場以來の最高値

出廻薄だが愈々活況

四倉繭市場に於ける昨四日取引は黃繭二百三貫白繭四百十九貫合計六百二十三貫四千八十六圓二十七錢で取引相場は黃繭最高六圓七十八錢最低四圓十錢買馴五圓七十一錢、白繭最高七圓九十錢、最低五圓七十錢、買馴七圓であるが當日白繭最高七圓九十錢は僅に一口あつたが當開市場開場以來の最高値で繭は幾分尻上りの氣配を見せて來た尙出廻りは廿日を頂上として漸次出廻薄になつて來たが繭質は逐次良好である

お稻荷樣暴れる

神谷村に狐橫行

神谷村大字鎌田字岸農鈴木庄三郎方で昨廿二日朝に飼育してゐた鷄十九羽か何ものかの爲めに窃取されてあるのを發見驚いて駐在所に屆出たので蛭田巡査が現場に至り調査した處雨で濡れてゐる地面に押された足跡から狐の仕業である事判明した

かみなり

◆平町名代の猖々老爺で通る或る大家の御隱居に口說かれた玉川の小糸◆藝者は藝を賣るんです、アマリ藝者を莫迦にシナいで丁戴、イヨッ音翁屋「デモあなただけはネ……」糞でも喰へ

◆見やう見眞似にドウやら球撞の赤々とれば三點赤白とれば二點をオボエた三好家のよし子た座敷に入るとどんな客でも片端からッカマへて◆ウスイのはどうすればよいのナメルのは、ワンコはこんなキンタマは兩手を握つてニユツにお客、助けてくれエ……

スター好　中形
粋な　手中
着尺モスリン　本場カヤ
平　龜田屋　電五七

社告

營業部員　一名

廿歲以上卅五歲以下の活動家を至急募集す

本人履歷書持參午前中來談あれ

磐城新聞社